

平成26年9月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額+繰越	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	支出負担行為	対予算比
8. 水道事業収益	2,658,966	209,442	1,190,432	44.8%	1,468,534		
1. 営業収益	2,309,761	203,089	1,171,924	50.7%	1,137,837		
1. 給水収益	2,280,090	202,354	1,167,213	51.2%	1,112,877		
2. 受託工事収益	0	0	0		0		
3. その他営業収益	29,671	735	4,711	15.9%	24,960		
2. 営業外収益	348,350	5,613	17,767	5.1%	330,583		
3. 特別利益	855	740	740	86.6%	115		
9. 水道事業費用	2,803,737	141,392	895,251	31.9%	1,908,486	1,139,787	40.7%
1. 営業費用	2,104,212	71,322	374,405	17.8%	1,729,807	618,403	29.4%
1. 原水及び浄水費	459,618	29,241	147,393	32.1%	312,225	247,427	53.8%
2. 配水費	277,677	16,802	90,361	32.5%	187,316	142,307	51.2%
3. 給水費	105,297	7,867	36,170	34.4%	69,127	46,605	44.3%
4. 受託工事費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
5. 業務費	119,389	10,334	50,055	41.9%	69,334	108,290	90.7%
6. 総係費	144,309	7,077	50,426	34.9%	93,883	73,774	51.1%
8. 減価償却費	955,368	0	0	0.0%	955,368	0	0.0%
9. 資産減耗費	42,554	0	0	0.0%	42,554	0	0.0%
10. その他営業費用	0	0	0		0	0	#DIV/0!
2. 営業外費用	285,571	69,999	128,092	44.9%	157,479	128,092	44.9%
3. 特別損失	393,954	71	392,754	99.7%	1,200	393,292	99.8%
4. 予備費	20,000	0	0		20,000	0	
10. 資本的収入	1,674,270	76,563	99,271	5.9%	1,574,999		
1. 企業債	951,100	21,000	21,000	2.2%	930,100		
2. 負担金・補償金	216,665	27,585	32,427	15.0%	184,238		
3. 補助金	193,678	8,246	19,124	9.9%	174,554		
4. 出資金	298,496	17,680	17,680	5.9%	280,816		
5. 加入金	14,331	2,052	9,040	63.1%	5,291		
9. その他資本的収入	0	0	0		0		
11. 資本的支出	2,703,401	240,539	543,994	20.1%	2,159,407	1,014,715	37.5%
1. 建設改良費	2,092,702	71,764	240,756	11.5%	1,851,946	1,014,715	48.5%
1. 取水施設整備費	231,341	53,625	53,625	23.2%	177,716	118,369	51.2%
2. 浄水施設整備費	165,929	0	1,714	1.0%	164,215	75,154	45.3%
3. 配給水施設整備費	1,692,472	18,139	185,416	11.0%	1,507,056	819,626	48.4%
6. 管理施設整備費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
7. 消防設備整備費	2,960	0	0	0.0%	2,960	1,566	52.9%
8. 災害復旧費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
2. 企業債償還金	610,699	168,775	303,238	49.7%	307,461		0.0%
12. たな卸し資産購入限度額	37,513	5,204	19,276	51.4%	18,237		0.0%
①有収水量	8,147,300	726,178	4,166,200	51.1%	3,981,100		
②供給単価	279.86	278.66	280.16	100.1%	△ 0.30		
③給水原価	258.40	194.61	120.61	46.7%	137.79		
人件費	245,097	39,706	107,659	43.9%	137,438		
1. 収益的収支	212,198	34,296	91,281	43.0%	120,917		
1. 職員給与と費	210,512	34,091	90,334	42.9%	120,178		
2. 特別職(報酬、賃金等)	1,686	204	947	56.2%	739		
2. 資本的収支	32,899	5,411	16,378	49.8%	16,521		
* 職員給与と費	243,411	39,502	106,712	43.8%	136,699		
職員給与と費対給水収益							
1. 損益勘定職員	9.2%	16.8%	7.7%				
2. 全職員	10.7%	19.5%	9.1%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	39,649,660	39,939,129	289,469	
*減価償却累計額	16,199,600	16,199,600	0	
B. 流動資産	2,747,729	2,707,708	△ 40,021	
1. 現金預金	2,277,801	2,234,919	△ 42,882	
2. 未収金	320,868	267,211	△ 53,657	
3. その他	149,059	205,578	56,519	貯蔵品・前払い金等
4. 貸倒引当金	△ 500	△ 500	0	
C. 繰延勘定	0	0	0	H26年度より廃止
D. 水道事業費用	377,200	876,136	498,936	
1. 営業費用	0	355,338	355,338	
2. 営業外費用	0	128,092	128,092	
3. 特別損失	377,200	392,705	15,505	
1. 借方合計=A+B+C+D	45,284,940	46,033,324	748,384	+長期前受金収益化累計額
E. 固定負債	10,828,484	10,857,563	29,079	
1. 企業債	10,404,784	10,433,863	29,079	
2. 引当金	423,700	423,700	0	
F. 流動負債	1,086,210	446,679	△ 639,531	
1. 企業債	606,244	307,458	△ 298,786	
2. 未払金	313,626	30,116	△ 283,510	3. 未払消費税含む
3. 資本的収入整理勘定	124,923	64	△ 124,859	・H26.6から前受金のみ
4. その他流動負債	41,416	109,041	67,625	
①下水道預り金	0	0	0	
②水道料金預り金	23	46	23	
③その他	41,393	108,995	67,602	・仮受消費税他
G. 繰延収益	8,662,885	8,896,577	233,692	
1. 長期前受金	8,662,885	8,896,577	233,692	
* // 収益化累計額	2,510,352	2,510,352	0	
H. 資本金	5,845,462	5,863,142	17,680	
1. 自己資本金	5,845,462	5,863,142	17,680	・固有、繰入(出資)、組入
2. 借入資本金	0	0	0	=企業債元金
J. 剰余金	2,661,799	2,661,799	0	
1. 資本剰余金	14,922	14,922	0	・補助金、負担金、補償金、加入金等
2. 利益剰余金	2,646,878	2,646,878	0	
K. 水道事業収益	0	1,107,464	1,107,464	
1. 営業収益	0	1,090,253	1,090,253	
2. 営業外収益	0	16,525	16,525	
3. 特別利益	0	685	685	
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	45,284,940	46,033,324	514,692	+減価償却累計額
a. 供給単価(円、銭)	261.10	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価(円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除		
①実数値	100.64	=原価算入額÷有収水量		当月予算
②シミュレーション	117.00	=原価算入額に資本費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	75.91%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	83.35%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	606.19%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	500.34%	=現金預金÷流動負債		

*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成26年 9月期 業務実績報告書(水道管理課)

一般事項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,427	182,460	181,790	181,533	670	927
2 調定水量	m ³	721,959	4,139,055	4,134,800	4,157,198	4,255	△ 18,143
3 調定料金(税抜)	円	187,364,646	1,085,543,578	1,081,000,000	1,085,911,408	4,543,678	△ 367,830
4 口振加入件数	件	25,497	153,080	-	153,027	-	53

2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	83,680	-	83,729	△ 49
6 給水件数	件	30,242	-	30,149	93
7 閉栓処理件数	件	236	1,707	1,606	101
8 閉栓処理件数	件	293	1,483	1,325	158
9 給水工事設計審査	件	86	465	511	△ 46
10 給水工事竣工検査	件	73	539	522	17
11 経年メーター交換	件	512	2,536	1,906	630
12 メーター口径変更	件	9	40	62	△ 22
13 月末停止件数	件	3	117	110	7

3 料金徴収関係

項目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	218,057,706 円	81.32 %	213,818,445 円	81.26 %
15 過年度分	5,159,640 円	97.31 %	5,551,114 円	97.10 %
16 全体(計)	223,217,346 円	-	219,369,559 円	-

4 給水装置工事指定業者(登米町1件追加)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	8	16	12	13	9	8	14	5	103	116	219

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計 (落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
入札件数	101/105	18/20	43/47	10/12	21/21	3/3	19/19	2/2	18/18	3/3	0/0	0/0
契約締結	一般	11	3	11	3	0	0	0	0	0	0	0
	指名	57	4	21	1	19	2	6	1	11	0	0
	随契	23	1	5	0	1	0	13	1	4	0	0
	合計	91	8	37	4	20	2	19	2	15	3	0

※入札中止 当月 0件:累計0件/入札不調 当月 2件:累計4件/入札取消 当月 0件:累計0件/未契約 10件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	13	3	
中間検査	0	0	
合計	13	3	

7 主な行事・会議

会議名	日時	内容
第6回水道事業連絡会議、料金徴収等管理業務委託会議	10日	業務報告、日程確認、業務打合せ、その他
第6回安全衛生委員会	11日	行事計画及び日程調整
産業フェスティバル打合せ会	11日	出展内容等の検討
第6回経営分析会議	19日	経営概況、残高試算表、月報、監査復命
日本水道協会東北支部事務講習会	25日	料金徴収等委託業務の現状について(佐藤次長が説明)
例月出納検査	29日	月例監査
部長等連絡調整会議	30日	庁内連絡調整、事業調整、各種行事等、
第6回事業調整会議	30日	部長等連絡調整会議復命、日程調整
指名委員会	-日	第14回9/2、第15回9/9、第16回9/25
入札	-日	9/9、9/25
緊急メールの発出	-日	漏水14、取水情報3、流量異常5、訓練1計23

特記事項

1.9月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

①収益的収支

当期の給水収益は202,354千円で、8月期に比べて1,020千円の増で、予算執行率は51.2%、対前年同月比(税抜き)では368千円の減、営業外収益は5,386千円で、事務手数料となっています。

当期の営業費用は72,448千円の執行で、累計額は375,531千円、予算執行率は17.8%、対前年同月比では2,803千円の減となっています。営業外費用は、企業債の償還金利子69,999千円を執行しています。

②資本的収支

当期の収入は、補償金27,585千円、水道加入金が2,052千円、累計で9,040千円、予算執行率では63.1%となっています。繰越では、補助金、出資金、企業債46,926千円が振替充当されています。

支出は、188,156千円で、配給水施設整備費の工事費に11,073千円、調査設計費に4,706千円、企業債の元金償還金に168,775千円を執行しました。繰越では、取水施設整備費の導水ポンプ場建設用地、移転補償費で52,383千円を執行しました。

③たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品、消耗品で1,787千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 第3回議会定例会が開会

平成26年第3回議会定例会が9月4日に開会しました。事業所では、放棄した債権の報告として水道料金34人分116件、34万円を不納欠損処理した件、平成25年度水道事業会計決算の認定、平成25年度水道事業未処分利益剰余金1億3,653万円を減債積立金に積立処分する件、補正予算では、収益的収入で消費税還付金2,112万円を増額、総額26億5,896万円に、支出で仮払消費税562万円を増額、総額28億374万円に、資本的収入で北方配水池インバータ設備補助金670万円を増額、総額15億86万円としました。提案議案については、それぞれ原案通りに可決され、24日に閉会しました。また、期間中に産業建設常任委員会が2日間開催され、9日には補正予算の内容、地域水道ビジョン改訂(案)の概要、配水管布設工事等に係る工事負担金の変更についての説明、16日には平成25年度決算の概要を説明しました。なお、地域水道ビジョンと工事負担金については、今後も継続調査案件として内容説明を行います。

(2) 水道ブラスター会議を開催

水道ブラスター会議を9月17日に開催しました。26年度に有収率向上のため事業実施中の市内全戸を対象とした漏水調査の内容説明、その後現地にて、調査を受託しているフジ地中情報の職員から音聴棒を使った調査方法の説明と実際の調査を体験しました。

(3) 給水拠点訓練を実施

給水拠点訓練を9月18日に迫総合支所、迫体育館で実施しました。支所・公民館職員、事業所職員、受託業者、水道ブラスター等15名が参加、給水タンク設置訓練の手順を再確認しながら、短時間で設置を終了しました。

(4) 災害訓練を実施

9月期の災害訓練を9月30日に実施しました。北上川上流で油流出事故が発生した想定で、事業所の対応についてシミュレーション訓練を実施しました。また、取水塔付近で油膜を確認したとの情報に基づき、オイルフェンスの設置、吸着マットでの処理等の対応と管工事業者組合への協力依頼等マニュアルの再確認を行いました。



(5) 産業フェスティバル出展準備中

今年も開催される市産業フェスティバルへの参加に向け、水道業務受託業者、水道事業関連会社の協力を得ながら、出展等について何度も打合せを行い、水道事業PRのための展示や水道クイズ、飲水体験コーナーについて検討を進めています。



(6) 交通安全街頭指導を実施

秋の交通安全運動市民総ぐるみ運動が9月21日から30日まで実施され、事業所も19日の市交通安全大会への参加、街頭指導の実施等交通安全を呼びかけました。

平成26年 9月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	850,122	5,293,421	5,207,370	5,345,043	86,051	-51,622
総配水量	789,205	5,022,499	4,981,310	5,164,352	41,189	-141,853
1 有効水量	781,945	4,533,409	4,482,560	4,560,230	50,849	-26,821
(1)有収水量	726,178	4,166,200	4,160,000	4,185,369	6,200	-19,169
(2)無収水量	55,767	367,209	322,560	374,861	44,649	-7,652
2 無効水量	7,260	489,090	498,750	604,122	-9,660	-115,032
(1)漏水量	6,374	484,614	496,500	601,989	-11,886	-117,375
(2)その他無効水量	886	4,476	2,250	2,133	2,226	2,343
3 有収率	92.01	82.95	83.51	81.04	-0.56	1.91

※当月期の最大配水量は、3日(水)に記録した【27,781m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	178,956	5	64,744	1	1,242	112,970	36%
イ 浄水施設整備事業	8	132,989	3	51,840	2	1,714	79,435	40%
ウ 配給水施設整備事業	80	1,503,028	35	587,316	15	45,816	869,896	42%
エ 繰越事業	12	274,769	2	68,493	10	191,984	14,292	94%

*注1 件数及び金額は工事+委託の合計です。

◎毎日検査

※おいしい水の条件 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数: 7)	東和町水系 (測定戸数: 4)	石越町水系 (測定戸数: 2)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数: 1)
平均	0.73	0.43	0.41	0.56	0.45
最低	0.63	0.15	0.20	0.30	0.21
最高	0.87	0.71	0.51	0.73	0.50

◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H26.9.26	<0.6	<0.8	錦織水系浄水場	H26.9.26	<0.6	<0.6
石越浄水場	H26.9.25	<0.7	<0.7	米谷水系浄水場	H26.9.26	<0.6	<0.9
大萱沢浄水場	H26.9.26	<0.6	<0.5	楼台浄水場	H26.9.26	<0.7	<0.9
米川水系浄水場	H26.9.26	<0.5	<0.5	—	—	—	—

特 記 事 項

1 下り松ポンプ場造成工事の安全祈願祭開催

下り松ポンプ場造成工事の安全祈願祭が9月1日、午後1時30分より、工事関係者出席のもと現地で開催されました。

神事終了後の挨拶では登米水道事業管理者の登米市長から工事関係者に対し「工事の安全を最優先にした期日内の完成厳守」についてのお願いに続き、「設計及び監理を受託した日水コン東北支社長と工事請負者の(株)渡辺建設代表取締役から「工事の安全と、より良い製品の完成を目指す」ことの決意が述べられました。

このポンプ場は、今年度に着手して平成29年度末までに供用を開始する予定で、事業の完了に向けた工事の執行については、各年度ごとに鋭意実施してまいります。

※工事の概要

- ①工事名称 下り松ポンプ場造成工事
- ②工事場所 登米市登米町寺池道場地内
- ③工事請負者 (株)渡辺建設
- ④工 期 平成26年7月14日～平成27年3月15日
- ⑤契約金額 55,293,840円



神事の様子



鳥瞰図スケッチ

2 保呂羽浄水場の水道水からカビ臭が発生



田瀬ダム湖

9月15日ころから、水道水からカビ臭がするとのお尋ねがありました。原因について、現地調査と併せ採水検査を実施した結果、北上川の上流部に位置する田瀬ダム湖で数年前から大量のアオコが発生し、特に、この時期として過去に経験したことの無いほどの臭気物質(ジェオスミン)が保呂羽浄水場の取水源まで流れ込んだことが主な原因と考えられております。

カビ臭は過去の実績では例年7月から10月にかけて発生しますが、対策としてジェオスミンの数値を測定しながら、状況に応じて活性炭を使用し臭いを除去してきました。

今回も発生直後から上記の処理を施し水質基準はクリアしておりましたが、人によっては臭いを感じることで、安全性についての問い合わせが多数あったものと判断しております。

水道水は、ろ過・消毒を行い水質の検査後に届けしておりますので、飲用に問題が無いことのお知らせを9月19日から21日の間に行いましたが、原水での数値が未だに高いことから活性炭による臭いの除去作業は現在も継続しています。



アオコの状況

3 平成26年度漏水調査の実施 (注:6月から実施)

9月末現在の漏水調査の結果は累計で、(配水管32箇所、空気弁2箇所、消火栓1箇所、給水管49箇所、止水栓4箇所、メータ16箇所、宅内3箇所)107件の漏水を発見しています。

4 地震発生状況

登米市内における震度4以上の地震発生はありませんでした。